

艦政本部

軍務局

佐鎮第三〇六號

大正三年六月十五日

第四部

會計 海軍大臣 八代六郎殿

佐世保鎮守府司令長官 藤井較一

佐世保鎮守府司令官印

隅田復舊修理着手ノ件

大正三年官房第三三四六號 刻令ノ軍艦

隅田復舊修理ハ七月十五日着手ノ事ニ

四月廿四日電報御認許相成矣知令艦ハ過般

ヲ上海ニ在リ速ニ着手方第三艦隊司令官希

望有之七月上旬検査結了次第直々ニ着手

致度矣條御認許相成度

如上申入

官房第一八三號

ス 進子本件ハ電報御指令相成様致度副申

臣

0868

大正七年六月十九日起案

起案者 捺印

六月六日發付

發付係 捺印

發付係 捺印

發付係 捺印

手紙

(抄素)

總政本部長

第三部長

部員

大臣

次官

副

會計課長

參事官

軍務局長

經理

第二部長

副官

大正七年六月十八日

海軍大臣

標的... 海軍大臣... 大正七年六月十八日

號番

號

毎

毎

局部	受月日	發月日	軍務	人事	醫務	經理	司法	鑑政	教育	臨建	水路	軍令
			3-6	3-6	3-6	3-6	3-6	3-6	3-6	3-6	3-6	3-6

8.6.13

22

6-12

0869

計り改定せしめたる所ありしが其ノ如ク
曰ニヨリテス願長ク其ノ徳也計長ク於
内ホ三員及カテ其ノ徳也計長ク於
其ノ他
計ニヨリテス願長ク其ノ徳也計長ク於
内ホ三員及カテ其ノ徳也計長ク於
其ノ他

但之要人入費際等以個校生らへし

0380

0370

飛 送

大正三年七月

日起案 起案者 捺印

七月廿九日發付 發付係 捺印

發付後 捺印

案者捺印

局、部 受月日 發月日

(提象)

艦政本部長 村松

第三部長 福田

郵政

大臣



副官

第二部長

外波

次官



參事官

會計課長

九勝

第四部長

海軍

軍務局長



局員

海軍

海軍

經理局長



局員



海軍

軍令	水路	陸建	教育	鑑政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局、部
						3-7-28			7-29	事務局長受	受月日 發月日

電信指令案

海軍大臣

大正三年七月廿九日

出 領 司 令 長 表

伊吹改造新設科 防蚊防蠅

號番

海

軍

海軍

西條實少輔が部長提議の案通り認許す下士卒
副官のハ詮議及ヒ難シ (終)

大正十四年四月五日

西條實少輔 提議の案通り認許す

海軍大臣 西條實

海軍大臣 西條實



0872

艦政本部長

第三部

會計課

第三部
會計課
第三

呉工第四號ノ六六七ノ四

大正三年七月十日

野間口呉海軍工廠長

村上海軍艦政本部長殿

伊吹ノ艦容ニ防艦防護装置等ヲ施ス件

本件艦本第ニ六八八號及今第ニ三八〇四號ヲ以テ御照

會ニ依リ別紙ニ事方概及屬面等計函請敬ニ分

右提出ス

(別紙ニ事方概及屬面等計函請敬ニ分)

本島海軍工廠長

了

本島海軍工廠長
田島海軍工廠長
野間口海軍工廠長

海

軍

2
艦
田島
3.7.13
野間口

0873

軍艦伊吹卒厠改造工事方按

別室ノ如ク卒厠ノ大便器ノ箇數ヲ増設スル爲メ兩舷共後
方ノ小便器ヲ撤去シテ大便器六個ヲ新設シ前方ノ小便器八個
置テ変更シテ之ヲ隔壁ニ取付クルモノトス尚ソイルパイプノスカツ
パイプ等ノ改造ヲ施ス

入費概算

金壹千六百參拾貳圓

内

材料費

金五百九拾貳圓

工費

金八百拾五圓

付屬費

金貳百拾拾五圓

0874

第三室

第三部長

松本三九

七

一

大正五年七月

山崎...

...

...

Main body of handwritten text in vertical columns.



七十三

0876

								加方針にあり何等かの思案を来りしハアラス カト、疑念の生るる者あり 右奥倉より	計 算
--	--	--	--	--	--	--	--	---	--------

③

0877

艦本第一八〇四號

艦政本部長 村整

第三部長

田

部員

海

軍

海

政艦 3.7.1. 受接

大正三年七月

政艦 3.7.2 受接

員工廠長アキ

政本部長

軍艦伊吹船體改良及機装工事役件

量第四号、第六二二号上申、中件、工字方等書提出、上
注、新方等書、自追書防蚊防蠅機装等、共、下士等
便所改良、工字方等書、已同時提出、古成、交
右照、存、云

(記)

(花崎 勲)

海軍省

海軍省

0878

參謀長

吳工第四號六六七之三

大正三年六月二十日

吳海軍工廠長野間口兼雄

三月十四日進達

海軍大臣八代六郎殿

伊吹船体改造及艦裝品新設ノ件

艦政本部

第三部

會計課

本件、前記今般別紙伊吹第一五九號及今第一六〇號
 寫通リ伊吹艦長ヨリ請求有之候處右ノ中伊吹下士
 卒便所、今艦下士卒定員八百〇六名ニ對シ、毎二十五名付
 一、割合ニ當リ居リ之ヲ他ノ各艦ニ於テ下士卒便所毎個
 ノ使用者総數ト比較スルルハ安藝號、二十四名、攝津、二十六名
 及扶桑、二十七名等ニ對シ、般艦裝上ヨリ考メ、ハ是等支士
 下士卒共何レモ特別任務從事中ニ於テ衛生維持上

官房第一九〇三號

海軍

國井

松下

福

副官

田

政艦 3.6.26 受接

1.5.22

0879

ノ特別請求ニ付此際至急御詮議上何分御指令相

成度

右 上 申 ス

迄テ不便ト究屈トヲ悉ハ現在ノ處劃中ニ六個ヲ増設スルコト
ヲ得及又防板防幌兩装置ノ方接ニ漸シテ目下尚ホ取調中
ニ付艦艇造修試験検査規則第四十五條第一號以下ニ對スル
必要書類等ハ迄テ提出可致矣

(了)

海 軍



伊吹第一五九號

大正三年六月十五日於吳

伊吹 艦長

吳海軍工廠長宛

艦艇機裝品新設一件

一防蚊装置、設備

理由 今四航路に主トシテ熱帯ノ屬シ各地多クハ熱帯病
 一流行ヲ見サルナリ殊ニハオマレ地方ハ有名志不健康地
 ニシテ「マリアヤ」及「黄熱」流行ノ時絶ニ時ナレ而シテ
 「マリアヤ」ノ傳播ハ蚊族ノ媒介ニ因リト既ニ吾人ノ知悉
 スル處ニシテ「マリアヤ」及「黄熱」ノ傳播媒介亦然リ故ニ

海

軍

0881

港ニ臨シ充分ニ防蚊ノ装置ヲ準備ヲ要ス然レモ黄熱
 病毒ノ傳播者タルスベグシヤ、カコルニスレハ其虫体極メ
 テ小ニシテ本邦ニテ普通使用スルカヤキ防蚊装置ニテハ
 到底其目的ヲ達ス能ハス由ラズ黄熱ノ病原ノ米
 俾等ノ軍艦ニ没入シ此慘クノ歴史ヲ昭シタルハ古ノ熟知
 スル處ニシテ既ニ英本国政府ニテハ一平方呎ニハ二十ヶ以
 上ノ目ヲ有スル防蚊装置ノ設備ヲ有スルモノニ抗サレハ黄
 熱流行地ニ向ケ出港ヲ許可セスト云フ故ニ此際此等
 ノ事實ニ鑑ミ特殊ノ防蚊装置ヲ完備シ先人ノ
 轍ヲ踏マサラン事ヲ要ス

設備船員ノ天窓ハバツ上甲板高直員等ニ設クハキ特

0882

殊ノ防蚊装置

六防蚊装置ノ設備

理由各船所及配食室ニ往來蠅族ノ籠衣ヲ對シテ毫
 毛豫方ニ装置ナリ現今ノ季節ニ於テモ既ニ多數ノ
 飛蠅ヲ見ルヲ以テ今後熱帶各地ノ寄港船中ニ到
 リ危險ノ念禁スル能ハス市南、クフス等ノ傳母病カ蠅
 族媒介ニ因リテ傳播セラレ、ノ事實ハ既ニ去ノ熟知カ
 所ナリ

設備現今ノ鉄底船ニアルワイヤ、子ツト、ドアーヲ以テ各
 船所及配食室)ノスクリーントニモワイヤ子ツトヲ張リ
 扉ノ出入時以外閉スルモノトス

海軍

0883

三水飲の設備付

理由目下使用せし水飲器下レテハ上甲板ニ於テ先般南洋飲料

水ノ倍々沸騰ルヲ常備シテコレニ柘杓ヲ入レ置道クニ

過キサレヲ以テ不具令ニシテ各員ハコレヲ用ユルヲ欲セス各

自ノ食卓ニ用ユ茶罐ニ一盃所沸騰水ヲ黄ヒ更

々各自茶碗ヲ用ヒ居リ故ト不便ニシテ且ツ不併裁尤ノ

ニナラズ運搬中飲料水亦汚染ノ虞アリ

設備飲料水罐ノ倍々尤當ノ如キ茶碗消毒器

ヲ備フ

右諸ホカ

(3)

0884

寫

儀第六〇號

大正三年六月十五日

伊吹艦長

皇海軍工廠長宛

船体改造ノ件

一、下主砲使所ノ改造

理由本艦下主砲ノ原圖トシテ、下主砲使所各艦四名分率
用十二名分ニテ、特別是員ヲ現令ニ於テモ既ニ不足
ヲ感スル状態ナルヲ以テ、全是員ヲ置キ、尙特別是員ノ
爲有餘名ノ臨時増員ヲ加ヘラレ、ニカソテ、八名現在在
任ニテ満足スル得、殊ニ率用大砲所、蓄電池、底面

0885

右請求ス

痛至ニテ傾斜サテ、排池臭合悪シ、總海水流
注スル高停滯ヲ免シス防疫上之危險甚シ殊ニ今田ノ
特別仕舞中ハ多ク熱帯地方ニ疫流行リ恐レテ
ル諸港灣ニ寄港スル一頻繁ナルヲ以テ此際足取
共改造上大便所數ノ増加ヲ計リ努カテ病毒ノ傳布
ヲ豫防シ今時ニ置キ地ヲ改造シテ排池ヲ完全ニ
スルノ必要アリ

0886

大正三年六月廿二日

呈請 海軍大臣 呈請 海軍大臣 呈請 海軍大臣

海軍省 勅令 第 〇 〇 〇 号

本日呈請 海軍大臣 呈請 海軍大臣 呈請 海軍大臣

海軍大臣 呈請 海軍大臣 呈請 海軍大臣

海軍大臣 呈請 海軍大臣 呈請 海軍大臣

海軍大臣 呈請 海軍大臣

海軍大臣 呈請 海軍大臣

〇〇

甲吹第一五九號下

大正三年六月十五日於吳

甲吹艦長

吳工廠長宛

艦艇艇裝品新設件

防蚊裝四道ノ設備

理由今回航路ハ主トシテ熱帶ニ屬シ各地多クハ
 熱帶病流行ヨ見ザルナク殊ニ「ハマ」地方ハ有
 名ナル不健康地ニシテ「マラリヤ」及「黄熱」流行
 四時絶ズ時ナレ而シテ「マラリヤ」ノ傳播ハ蚊族ノ媒
 介ニ因ル「既ニ世人ノ知悉スル所ニシテ恐ルベキ黄
 熱」即四道ノ方ニ

吳工廠長宛
 大正三年八月一日

0888

熱ノ傳染媒介亦然リ故ニ出港ニ臨ミタリカテ防
 蚊ノ装置準備ヲ要ス然レモ黄熱病ノ病毒ノ傳播
 者タル「ステゴミヤカロープス」ハ其虫体極メテ小ニシテ
 本邦ニテ普通使用スルガ如キ防蚊装置ニテハ到
 底其目的ヲ達スル能ハス曾テハ黄熱病ノ病原英
 米佛等ノ軍艦ニ浸入シ悲惨ノ一歴史ヲ貽シタルハ
 世ノ熟知スル如ニシテ既ニ英本國^{海軍}ニハ一平方呎ニ
 十ヶ以上ノ目ヨ有スル防蚊装置ノ設備ヲ有スルモノ
 ニアラカレバ黄熱流行地ニ向ケ出港ヲ許セズト云
 故ニ此際外等ノ事實ニ鑑ミ殊殊ノ防蚊装置
 ヲ完備シ先人ノ轍ヲ踏マザラン事ヲ要ス

0889

設備 舷窓天窓「ハ」上甲板直員等ニ設
クハキ特殊ノ防蚊装置

二、防蠅装置ノ設備

理由 各船所及配食室ニハ從來蠅族ノ襲来ニ対シ
テ直員ニ後防装置ヲ現今ノ季子既ニ於テモ既ニ
多數ノ飛蠅ヲ見ルヨリ以テ今後熱帯各地各埠港
ニ想ヒ到ルハ危懼ノ念禁スル能ガ赤痢チフス等ノ
傳染病カ蠅族媒介ニヨリテ傳播セラルノ事實
ハ既ニ世ノ熟知スル所ナリ

設備現、鉄扉ニ代スニワイヤネットドールヲ以テシ
各船所及配食室「カ」ライ止ニモワイヤネットヲ

0890

張り麻ハ山定時以外必閉ルモノトス

三水飲器具付

理由目下使用セル水飲器番トシキハ上申板ニ於ケル殺
菌飲料水ノ傍ラニ沸騰水ヲ常備シテコレニ柄杓ヲ
入シ置キ過キガルヲ以テ不具合ニシテ各員ハコレヲ用
ユルヲ欲ス各員ノ食卓ニ用ユル薬罐ニニ贈所ヨリ
沸騰水ヲ貰ヒ受ケ者自ノ茶碗ヲ用ヒヒケリ故ニ不
便ニシテ具目不体裁ナルミナラツ運搬中飲料水
亦汚染ト度アリ

該備飲料水罐傍ニ左掲ノ如キ茶碗柄杓等ヲ備

右請来ス

(終)

0891

伊吹第一六〇號

大正三年六月十五日於吳

伊吹艦長

吳工廠長宛

船体改造ノ件

一、下士卒便所改造

理由本艦下士卒以下、廁圍トシテ下士用大便所
 各舷四名分卒用十二名分ニシテ特別是員タル
 現今ニ於テモ既ニ不足ト感ズル状態ナルヲ以テ全
 是員ヨリ置キ尚特別任務ノ為自餘名ノ臨時増
 員ヲ加ヘラルニ方リテ、到底現在ノ便ニテ満足スル
 事ナラズ、

呈呈檢伊吹第一八号

0892

得殊ニ卒用大便民ノ糞池ニ底面扁平ニシテ
 傾斜ナク排泄臭合悪シク不絶海水ヲ流通
 スルモ尚停滯ヲ免ハズ防疫上危険甚シ殊ニ今
 日ノ特別任務中ハ多ク熱帯地方悪疫流行
 ノ型トナル諸港灣ニ由港スル一類敏示ルヲ以テ
 此際是非共改造ノ上大便所敷キノ増加ヲ計リ努
 テ病毒ノ傳染ヲ豫防シ今時ニ重地ヲ改造シ
 テ排泄ヲ見全ニスル必要アリ
 右請求ス

(終)

0893

軍務局長

秋山

局員

田原

田原

田原

政報 3.6.24 受接

艦政本部長

村野

第二部長

田原

田原

田原

田原

田原

田原

田原

大正三年六月

(伊吹分)

伊吹

政報 8.6.26 付

艦政本部長

田原

軍艦伊吹

装置ヲ施ス

南米仙遊線定一軍艦伊吹

艦ヲ防ク為其ノ舷窓ニ出来

得ル各ハツク防蚊装置ヲ必要ト認ムル

貴方艦ヲ防ク為其ノ舷窓ニ出来

艦本第一六八號

計画ヲナシ至急回函提出

(花崎)

0894

海軍

右成文

右照會文

追于本年五月十五日軍令部常報第七一號
四〇九ノ記事参照ヲ要ス

(約)

(分計画)

伊吹ノ回廊ヲ見タル上
舞鶴航子ノ台モ重要ノ所ナリ

解スルニ
能ハス

(花崎納)

0895

艦政本部長

第三

會計課

三
部
長
印
取
付
云

軍第二一五號

大正三年六月十七日

艦政本部 却中

軍務局

海

軍

南米の遺豫定ノ伊吹艦隊ニハ誘方面ニ於ケ
 ル悪性蚊群ノ入艦ヲ防止スルニ其能意ニ
 出資得レハ各ハツチ共ニ防蚊装置ヲナシテ必要
 ト認メ候事可然御取計相成度
 右照會ス
 臣等ノ奉考別紙添付致置候

終

政艦
3.6.17
受持

6-20

0896

別紙

海軍

軍務局

四〇九 在墨米艦ノ「マラリア」豫防

(一九一四、四、一一、アーミー、インド、ネーガー、マヨール)

(大正三年五月軍令部常報第七号)

墨國諸港特ニタンビコ港在泊ノ艦船ハ蚊軍ノ襲來ニ苦ムコト甚シキノミナラス乗員ハ爲メニ惡性「マラリア」ニ罹ルモノ多キヲ以テ米艦ニテハ之カ防止驅除ニカムルト同時ニ規那鹽ヲ各員ニ配付シ舷窓ヲ遮蔽シ且日暮後ニ至レハ當直以外ノ者ヲ甲板上ニ出サス又右當直員ニハ手套網帽ヲ用フル等銳意豫防策ヲ講シタル結果米艦ハ長時日同方面ノ警備ニ任シツヽアルニモ係ラス殆ト「マラリア」患者ノ發生ヲ根絶シ得タリ之ニ反シテ當時共ニ同港ニ在泊セシ外國ノ二軍艦ニテハ就レモ約五十名ノ患者ヲ出シ内若干名ハ米海軍病院船「ソールース」ニ收容加療スルニ至レリ此ノ如ク米艦カ細心ノ注意ヲ拂ヒテ「マラリア」豫防ノ實績ヲ擧ゲ得タルハ醫術上軍事上共ニ價値アルコトトス蓋シ艦内ニ多數ノ患者發生センカ之カ爲メ全ク軍艦ノ戦闘力ヲ失フヘケレハナリ

(九) 續

0897

艦政本部長

第三部

會計課

電文譯

三、七、一五 祭

本部宛

吳工敵

海軍

伊吹(伊吹) 便所 増設等。其際休暇ニテ艦内人員ノ少キ間
 ヲ選ビ可成早ク着手。必要アリ 吳工敵 四、六、六、七、
 四 提出ノ方案 至急御註議ノ上電報訓令アル様
 取計シタシ

(3)

(花崎納)

0898

電 報 着 信 紙

局 着		局 發				受 信 人 居 所 氏 名	
取扱者	受信	付午後	受午後	第	報	カニセーイ 報ニフ	
	後前	時	後前	日	局		
		7月	2日	カニセーイ	支		
		分	時	報	局	報	
定 指						番着 紙 氏名所居人信發	
事 記						一	カニ
印 附 日 信 着						第 二 三 號	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> カニ セーイ 報 ニ フ </div>							

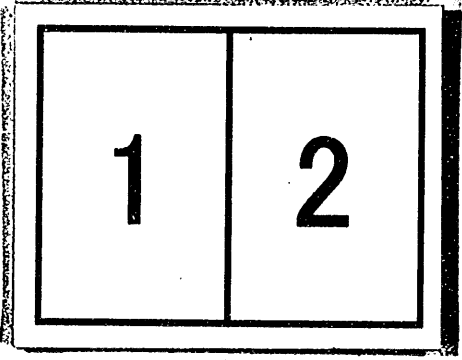
0899

電 報 着 信 紙

局 着		局 發					名氏所居人信受									
取扱者	雙信 付受 午後 後前	時 分	字	月 日	第 號	報 局	<div style="font-size: 2em; margin-left: 50px;">19</div>									
<div style="font-size: 2em; text-align: center;"> シ 工 テ ル ヲ ホ ト リ ハ カ </div>										定 指	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="writing-mode: vertical-rl;">番着 號信</th> <th style="writing-mode: vertical-rl;">數紙</th> <th style="writing-mode: vertical-rl;">名氏所居人信發</th> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">第 二 四 號</td> <td></td> </tr> </table>			番着 號信	數紙	名氏所居人信發
番着 號信	數紙	名氏所居人信發														
	第 二 四 號															
							事 記	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="writing-mode: vertical-rl;">印附日信着</th> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table>			印附日信着					
印附日信着																

0900

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0901
0902

軍艦伊吹 重量増減表

大正3年7月7日

竣工總重量	淡水	雜用海水	乘員及所持品 人分	糧食(風袋) 日分	橋枕諸圓材網具等	錨 挺	錨鎖 錨綱及附屬品	搭載船舟 隻	水雷防禦網及附屬品	需品測器海圖藥用品	齊備品合計	兵器	甲鐵釘甲鐵材及砲塔頂板	司令塔 揚聲筒及通報筒	防禦甲板(板、ミ)	船殼及機裝	推進機關及豫備品	汽罐復水器及給水罐内ノ水	補助機(推進機、開閉機、カール機)	定重量 石炭	合計	前部		
																						部	部	
竣工總重量	84,759	5,000	95,313	80,063	90,876	21,527	93,758	61,875	6,456	103,800	701,127	2307,007	2030,036	161,643	657,141	6545,166	643,280	709,720	513,042	600,000	15087,772	242,872	2	
第一回												0,390				3,714						15091,876		
第二回												0,390				3,360						15091,526		
第三回												2,980				1,250						15096,106		
第四回												2,980				1,250						15095,756		
第五回												3,429										15099,535	242,872	2
第六回												3,429										15099,185	242,872	2
第七回												21,654										15121,189	242,872	2
第八回												21,654										15120,839	242,872	2
第九回												-0,068										15120,257		
第十回												0,068										15120,907		
第十一回																1,250						15122,507		
第十二回																1,250						15122,157		
第十三回												0,541										15123,048	242,872	2
第十四回												-0,700										15106,598	242,872	2
第十五回												-0,900										15107,568		
第十六回																	0,970					15108,700		
第十七回																	0,970					15108,700		
第十八回																	1,132					15110,590	242,872	2
第十九回																	0,251					15110,590	242,872	2
第二十回																	1,890					15111,591		
第二十一回												0,430					0,591					15111,591		
第二十二回												1,545					0,125					15113,261	242,872	2
第二十三回												1,545					0,125					15113,528		
第二十四回																	0,267					15113,528		
第二十五回																	0,267					15117,588	242,872	2
第二十六回																	4,060					15117,111		
第二十七回												-0,477										15117,335		
第二十八回												0,400					0,200					15117,935		
第二十九回																				0,041		15117,935		
第三十回																				0,132		15117,935		

改造新設附屬物ノ増減若ハ搭載物變更ニ伴フ重量ノ増減

備考 此様式發布以後第一回ノ上申ニハ本艦船ノ現状ニ於ケル重量ヲ竣工總重量トシテ各欄ニ記入シ其ノ上申ニ依テ生ズル重量増減ノ豫定ヲ第一回ノ各欄ニ記入スヘシ
 第二回ノ上申ニハ竣工總重量及第一回ノ重量増減ノ豫定並實際ノ各欄ニ記入シ第二回ノ豫定ヲ記入スヘシ第三回以後亦此例ニ依ルヘシ
 数字ハ實際ノ分ヲ書クノ後分ヲ書クニ付テハ「-」符ヲ付スヘシ
 増減ノ明ニスル爲メ増ニハ符號ヲ付スニ付テハ「+」符ヲ付スヘシ
 期日ハ上申ノトキハ竣工豫定期日ヲ記入シ其ノ後ニ於テハ實際竣工月日ヲ記入スヘシ

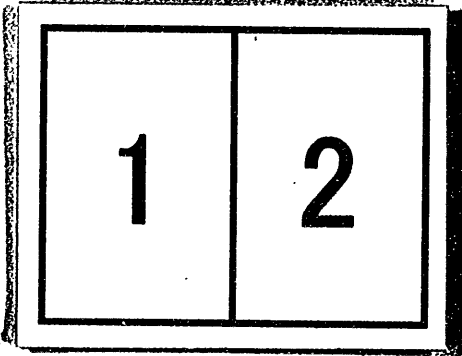
軍艦伊吹 重量増減表 大正3年7月7日

船	船鎖 船綱及附屬品	搭載 船舟 隻	水雷 防禦網及附屬品	需品 測器海圖藥用品	齊備 品合計	兵 器	甲鐵 釘甲鐵材及砲塔頂板	司令塔 揚聲筒及通報筒	防禦 甲板(板ノミ)	船殼 及 機 裝	推進 機關及 豫備品	汽鐘 復水器 及給水 罐内ノ水	補 助 機 械 (推進機 開閉機 カール)	定 量 石 炭	合 計	突 水			期 日	記 事
																前 部	後 部	中 部		
21.527	93.758	61.875	64456	103.800	701.127	2307.007	2030.036	161.648	657.141	6545.166	643.280	709.720	513.042	600.000	15087.772	24-8 ⁷ / ₃₂ "	28-5 ¹ / ₃₂ "	26-6 ⁵ / ₃₂ "		
						0.390				3.710					15071.876				45-5-31	下部梁令所改造
						0.390				3.360					15091.526					
						2.980				1.250					15076.106					
						2.980				1.250					15095.766				43-11-2	無線電信装置改正
						3.429									15099.535	24-8 ¹¹ / ₃₂ "	28-5 ³ / ₃₂ "	26-6 ³¹ / ₃₂ "		八吋十吋砲塔旋 回装置改正
						3.429									15099.185	24-8 ¹¹ / ₃₂ "	28-5 ³ / ₃₂ "	26-6 ³¹ / ₃₂ "	45-5-31	
						21.654									15121.187	24-8 ⁸ / ₃₂ "	28-5 ² / ₃₂ "	26-7 ¹⁶ / ₃₂ "		三吋砲四門新設
						21.654									15120.829	24-8 ⁸ / ₃₂ "	28-5 ² / ₃₂ "	26-7 ¹⁶ / ₃₂ "	45-1-29	
						0.068									15121.257					
						0.068									15120.907				45-2-28	無線電信用燒氣装置 新設
										1.250					15122.507					
										1.250					15122.157				45-5-31	前部艦橋補強
						0.541									15123.048	24-8 ²¹ / ₃₂ "	28-5 ¹⁷ / ₃₂ "	26-7 ³ / ₃₂ "		水雷指揮通信装置 新設
						-0.700				-15.550					15106.598	24-8 ¹³ / ₃₂ "	28-5 ⁹ / ₃₂ "	26-6 ²⁹ / ₃₂ "	2-9-30	彈藥庫通風冷却装置 新設
						-0.900				-15.550					15107.568					
											0.970				15108.700					
											0.970				15108.700				2-9-30	主蒸氣管付屬管改正 主カール内乾機用加熱 空氣管カール内排水管改正
											1.132				15110.590	24-8 ⁷ / ₃₂ "	28-5 ⁵ / ₃₂ "	26-6 ⁷ / ₃₂ "	2-8-5	機械室油管装置改正
											0.251				15111.591					
											1.890				15111.591				2-8-5	平時無線電信室通信 装置改正
						0.430				0.571					15113.261	24-8 ⁷ / ₃₂ "	28-5 ⁵ / ₃₂ "	26-6 ¹⁵ / ₃₂ "		
						1.545				0.125					15113.261	24-8 ⁷ / ₃₂ "	28-5 ⁵ / ₃₂ "	26-6 ¹⁵ / ₃₂ "	2-9-30	集音器増設
						1.545				0.125					15113.528					
										0.267					15117.588	24-8 ⁵ / ₃₂ "	28-5 ³ / ₃₂ "	26-7"	2-9-10	倉庫新設
										0.267					15117.588	24-8 ⁵ / ₃₂ "	28-5 ³ / ₃₂ "	26-7"	2-10-9	カールキー改造
						-0.477				4.060					15117.111					
															15117.335					
															15117.335					
						0.400				0.200					15117.935					
															15117.935					
															15117.935				2-8-31	無線電信室通風 下部蒸氣管路室通風 主機室油管及油冷却 管装置改正
															15117.935				2-10-20	空壓機唧筒機裝 二カール機室所管

重量ヲ竣工總重量トシテ各欄ニ記入シ其ノ上申ニ依テ生ズヘキ重量増減ノ豫定ヲ第一回ノ各欄ニ記入スヘシ
 實際ノ各欄ニ記入シ第二回ノ豫定ヲ記入スヘシ第三回以後亦此例ニ依ルヘシ

付スベシ
 實際竣工シタル月日ヲ記入スヘシ

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

2

0903
0904

年 船 伊 吹 重 量 増 減 表

大正 3 年 7 月 7 日

		淡 水	雑 用 海 水	乘 員 及 所 持 品 人 分	糧 食 (風 袋 共) 日 分	橋 帆 諸 圓 材 網 具 等	錨	錨 鎖 錨 綱 及 附 屬 品	搭 載 船 舟 隻	水 雷 防 禦 網 及 附 屬 品	需 品 測 器 海 圖 療 用 品	齊 備 品 合 計	兵 器	甲 鐵 釘 甲 鐵 材 及 砲 塔 頂 板	自 合 塔 揚 彈 筒 及 通 報 筒	防 禦 甲 板 (板、三)	船 殼 及 鐵 卷	推 進 機 關 及 豫 備 品	汽 鐘 復 水 器 及 給 水 罐 内、水	補 助 機 械 (推 進 機 關、機 械、帆 索)	定 量 石 炭	合 計	均 部	
竣工 總 重 量																								
改 造 新 設 附 屬 物、増 減 若 入 搭 載 物 變 更 二 伴、重 量 合 増 減	第 一 回												0.112				0.108						15119.909	
	第 二 回												1.064				-0.023						15120.745	
	第 三 回																0.836						15121.057	
	第 四 回																0.312						15121.057	
	第 五 回																							
	第 六 回																							
	第 七 回																							
	第 八 回																							
	第 九 回																							
	第 十 回																							
	第 十 一 回																							
	第 十 二 回																							
	第 十 三 回																							
	第 十 四 回																							
	第 十 五 回																							
	第 十 六 回																							
	第 十 七 回																							
	第 十 八 回																							
	第 十 九 回																							
	第 二 十 回																							

備考 此表發布以後第一回ノ上申ニハ本船ノ現状ニ於ケル重量ヲ竣工總重量トシテ各欄ニ記入シ其ノ上申ニ依テ生ズル重量増減ノ豫定ヲ第一回ノ各欄ニ記入スヘシ
 第二回ノ上申ニハ竣工總重量及第一回ノ重量増減ノ豫定並實際ノ各欄ニ記入シ第二回ノ豫定ヲ記入スヘシ第三回以後亦此例ニ依ルヘシ
 数字ハ實際ノ分ヲ書ク豫定ノ分ヲ書クニハ「-」符ヲ付スベシ
 増減ノ別ニシテ増ニハ「+」符ヲ付スベシ減ニハ「-」符ヲ付スベシ
 期日ハ上申ノトキハ竣工後期日ヲ記入シ其ノ後ニ於テハ實際竣工シタル月日ヲ記入スベシ

軍艦伊吹重量増減表 大正3年7月7日

機	錨鎖 錨綱及附屬品	搭載 船舟 隻	水雷防禦網及附屬品	需品測器海圖藥用品	齊備品合計	兵器	甲鐵釘甲鐵材及砲塔頂板	司令塔揚聲筒及通報筒	防禦甲板(板ノミ)	船殼及機裝	推進機關及豫備品	汽機復水器給水罐内ノ水	補 (推進機關ノ修理ノ用ニシテ)	定量 石炭	合計	突水後			期 日	記 事	
																前 部	後 部	平 均			
						0.112				0.108					15119.909						揚火警信号器裝補
						1.064				-0.023					15120.745						無線電信装置変便
										0.836					15121.057						平厠改造
										0.312					15121.057						防蚊装置新設

重量ヲ竣工總重量トシテ各欄ニ記入シ其ノ上申ニ依テ生ズル重量増減ノ豫定ヲ第一回ノ各欄ニ記入スヘシ
並實際ノ各欄ニ記入シ第二回ノ豫定ヲ記入スヘシ第三回以後亦此例ニ依ルヘシ

ヲ付スベシ
ハ實際ノシケル月日ヲ記入スヘシ

本部

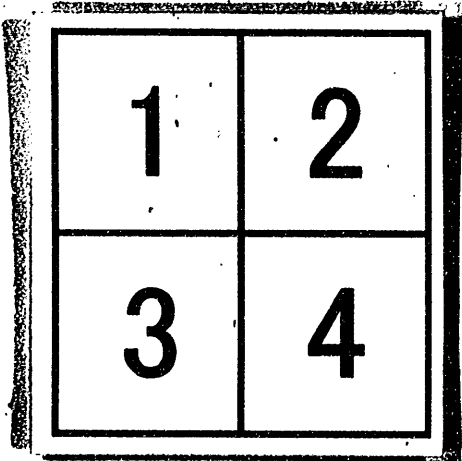
早稲田
吹
第
二
三
田
量
隊
定
増
減
表

造船部長



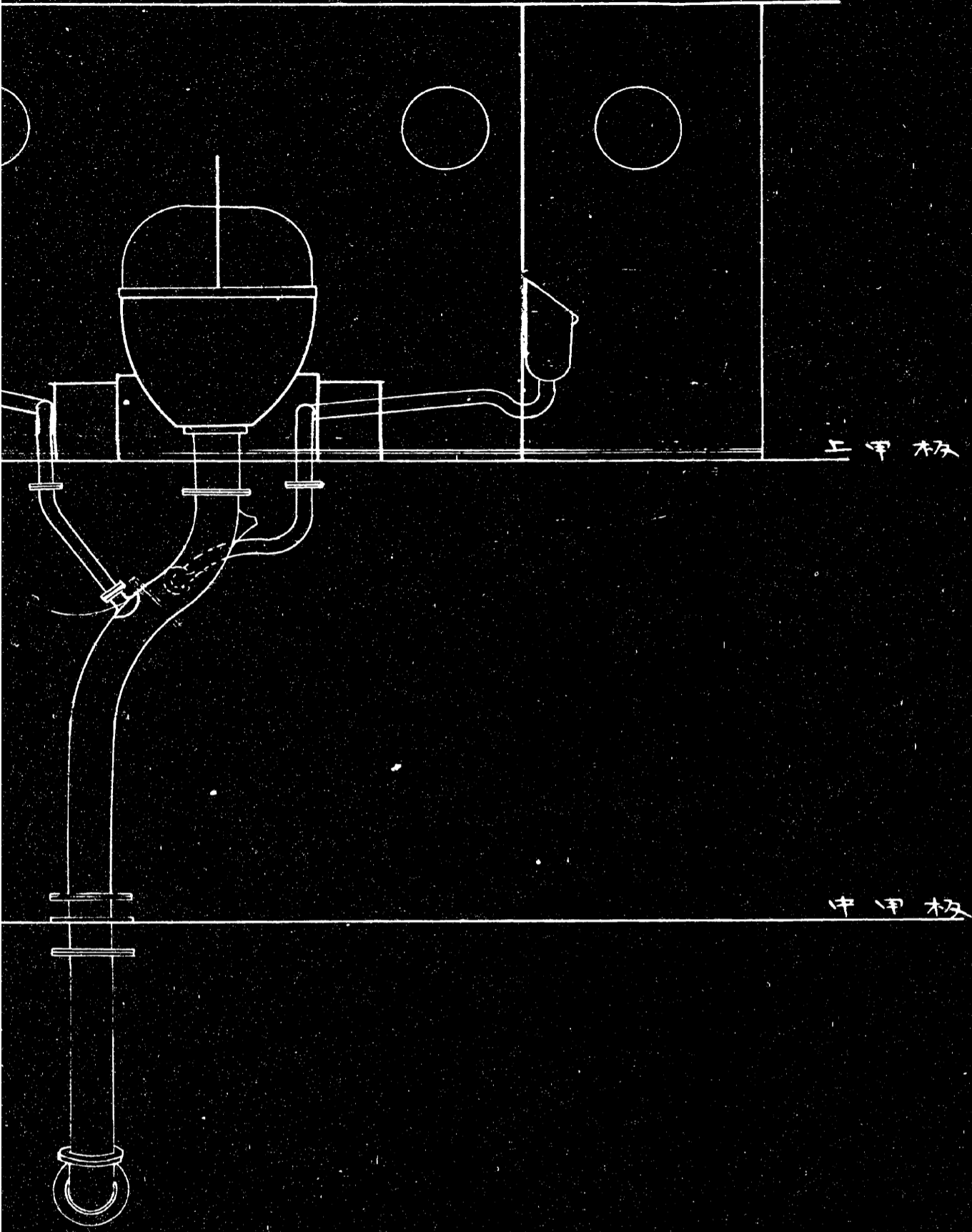
0905

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3判以上のため
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0906
0907
0908
0909

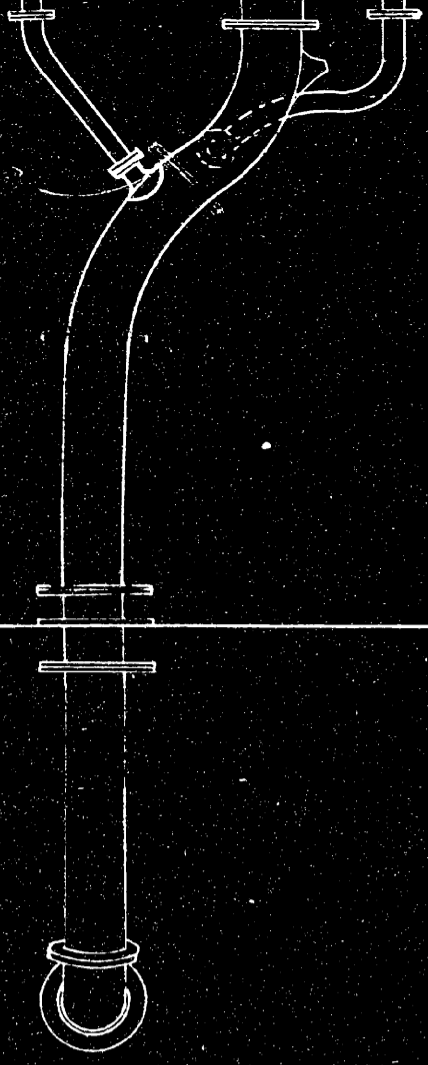
側面



平面

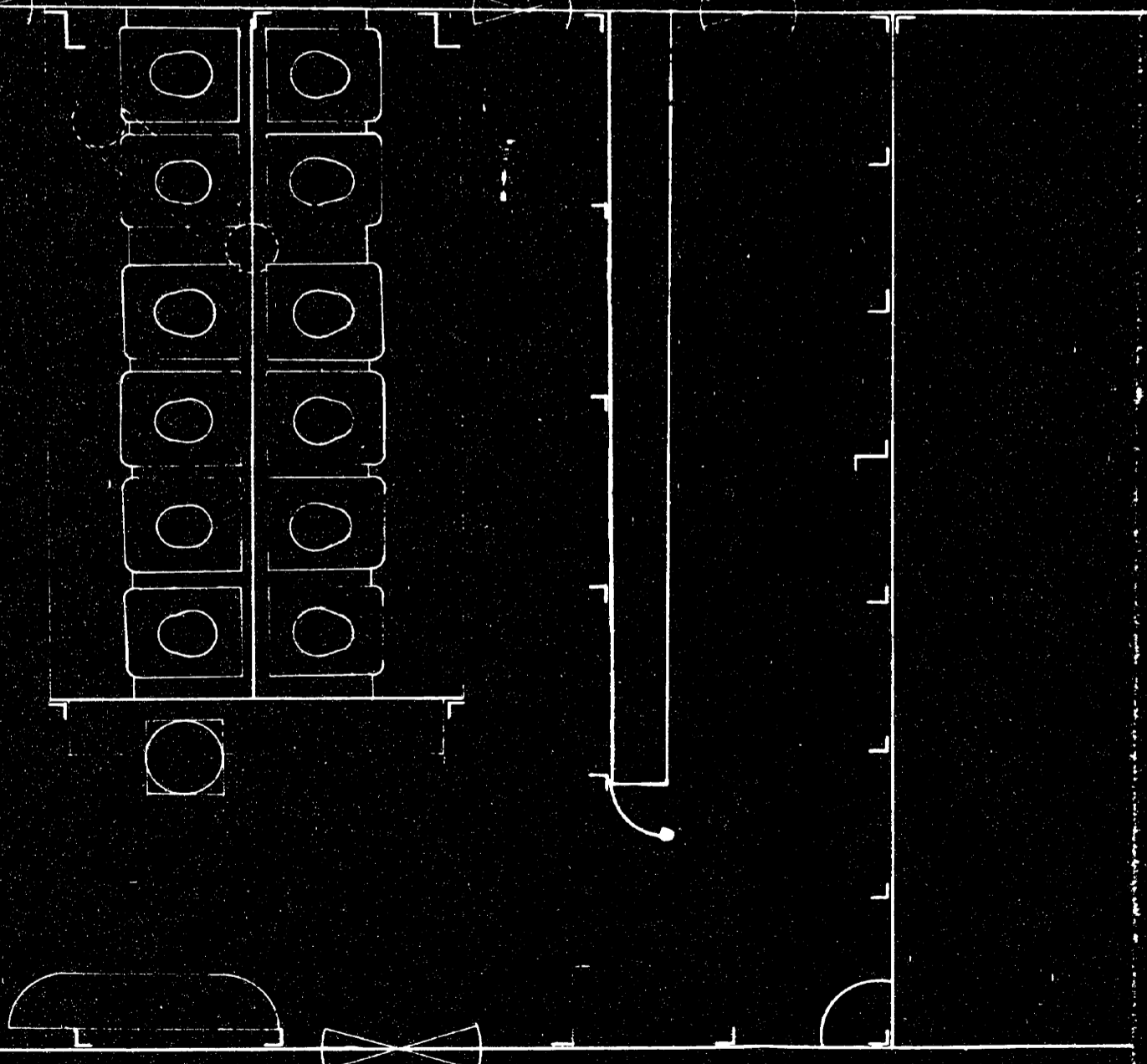


軍艦伊吹
兵員創改造



中甲板

平面

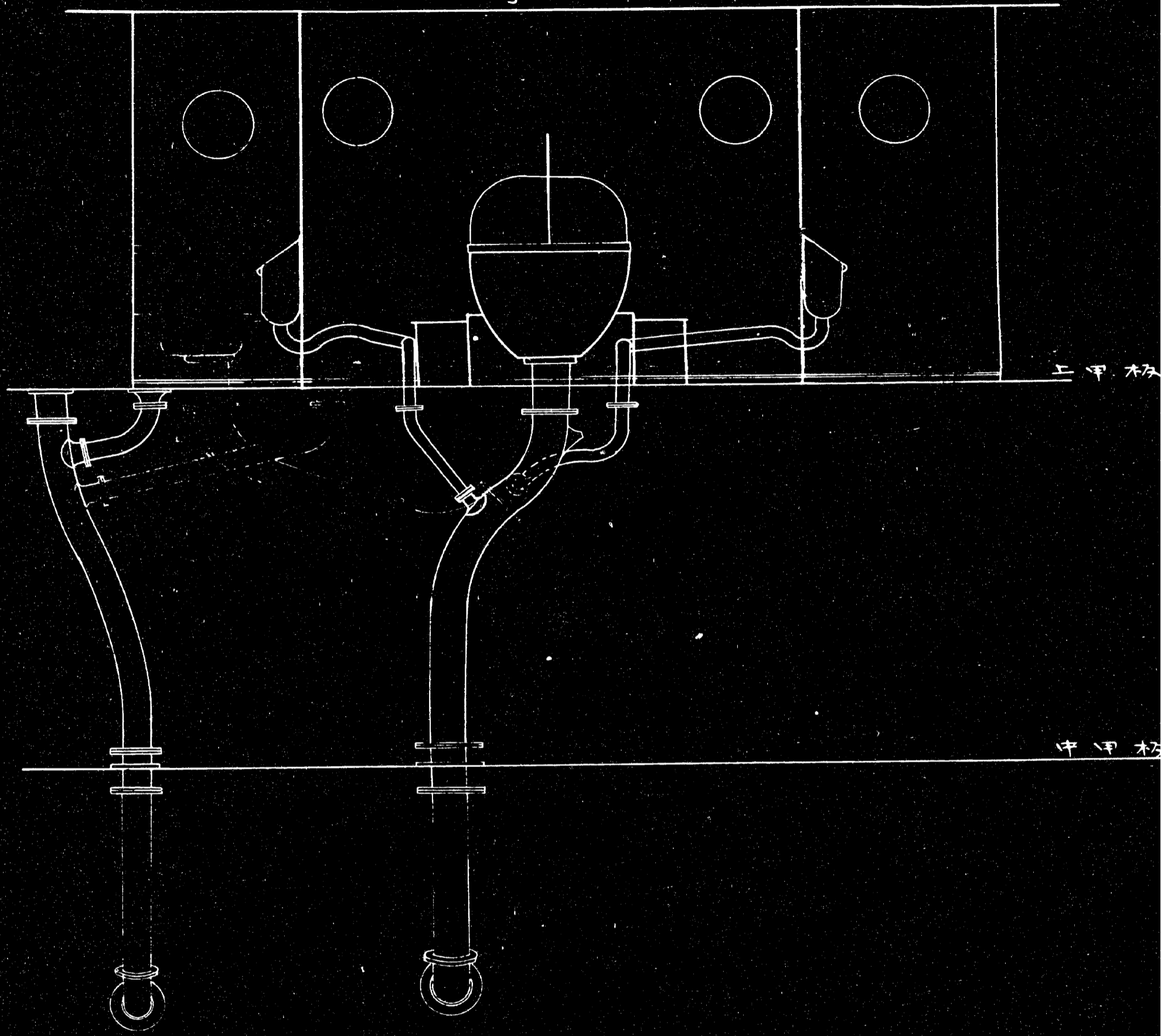


尺度 $\frac{1}{2}'' = 1''$

軍艦伊吹
兵員創改造

呉海軍工廠造船部	
部長	
製備主任	
部員	
拵負	佐々木
図番者	引地
製番者	瀬戸
番面番號	325
工事番號	
製番年月日	
出番年月日	3-7-6.

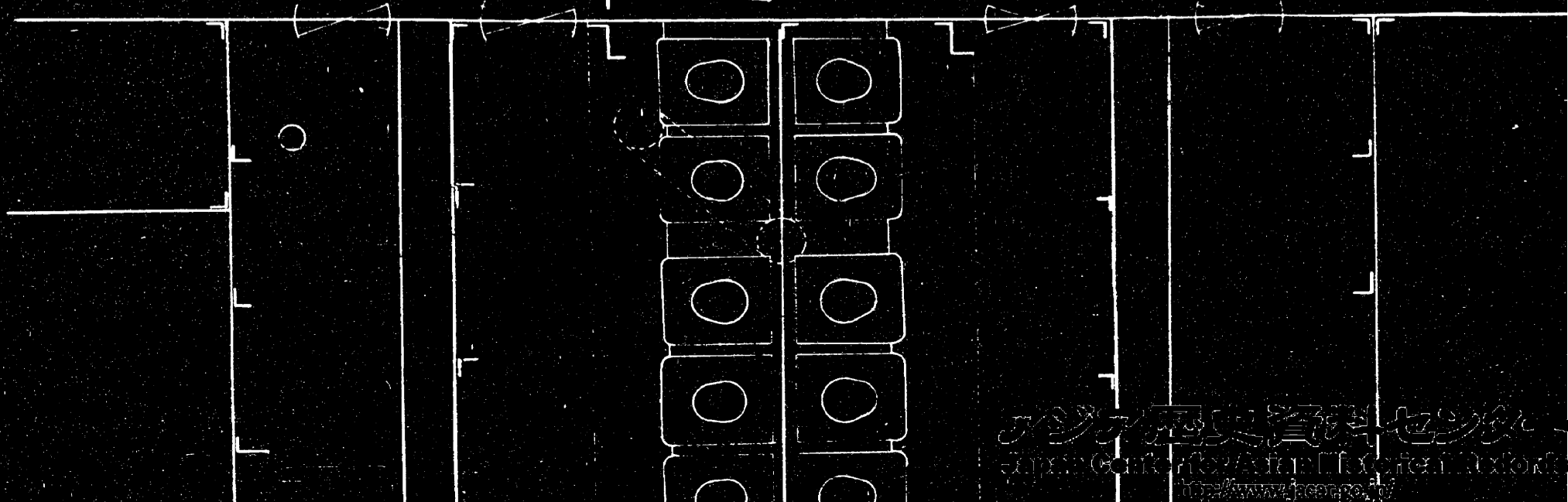
側面

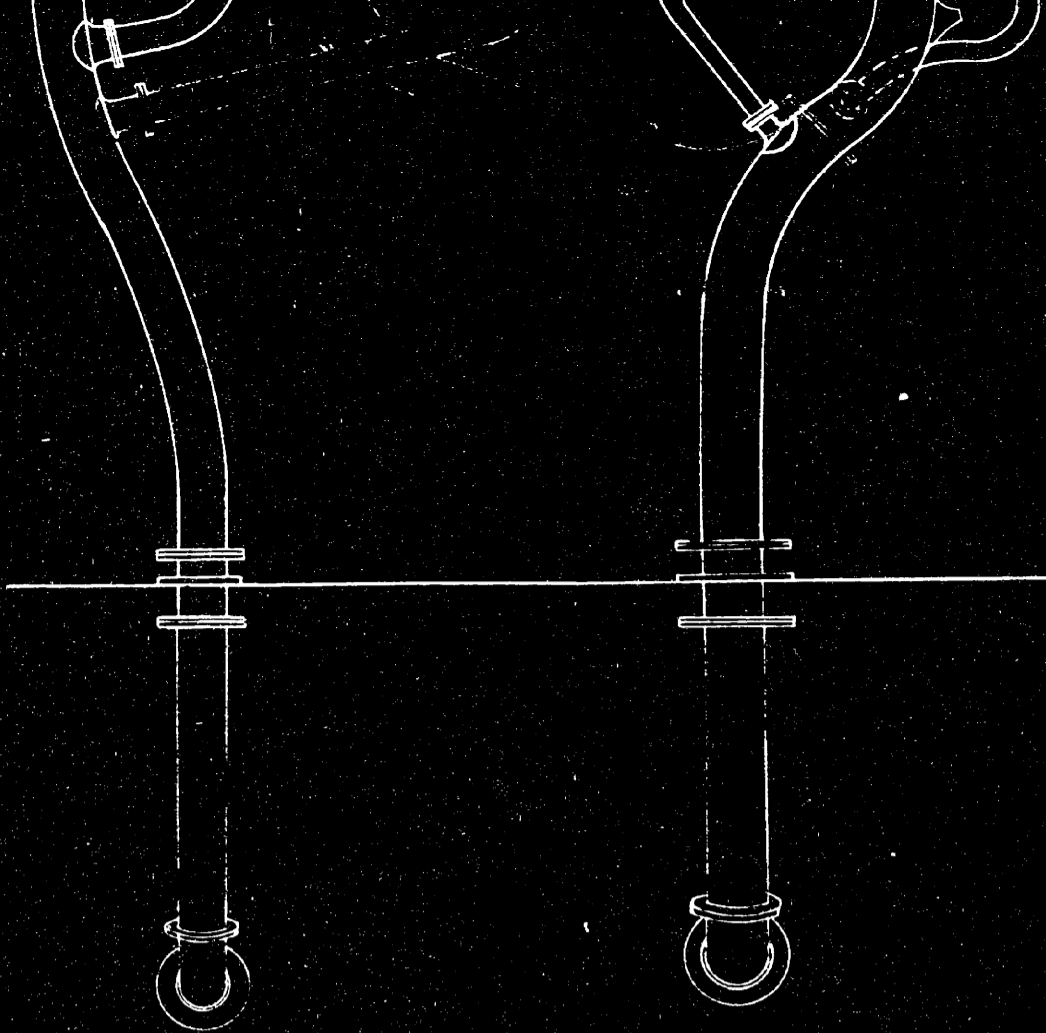


上甲板

中甲板

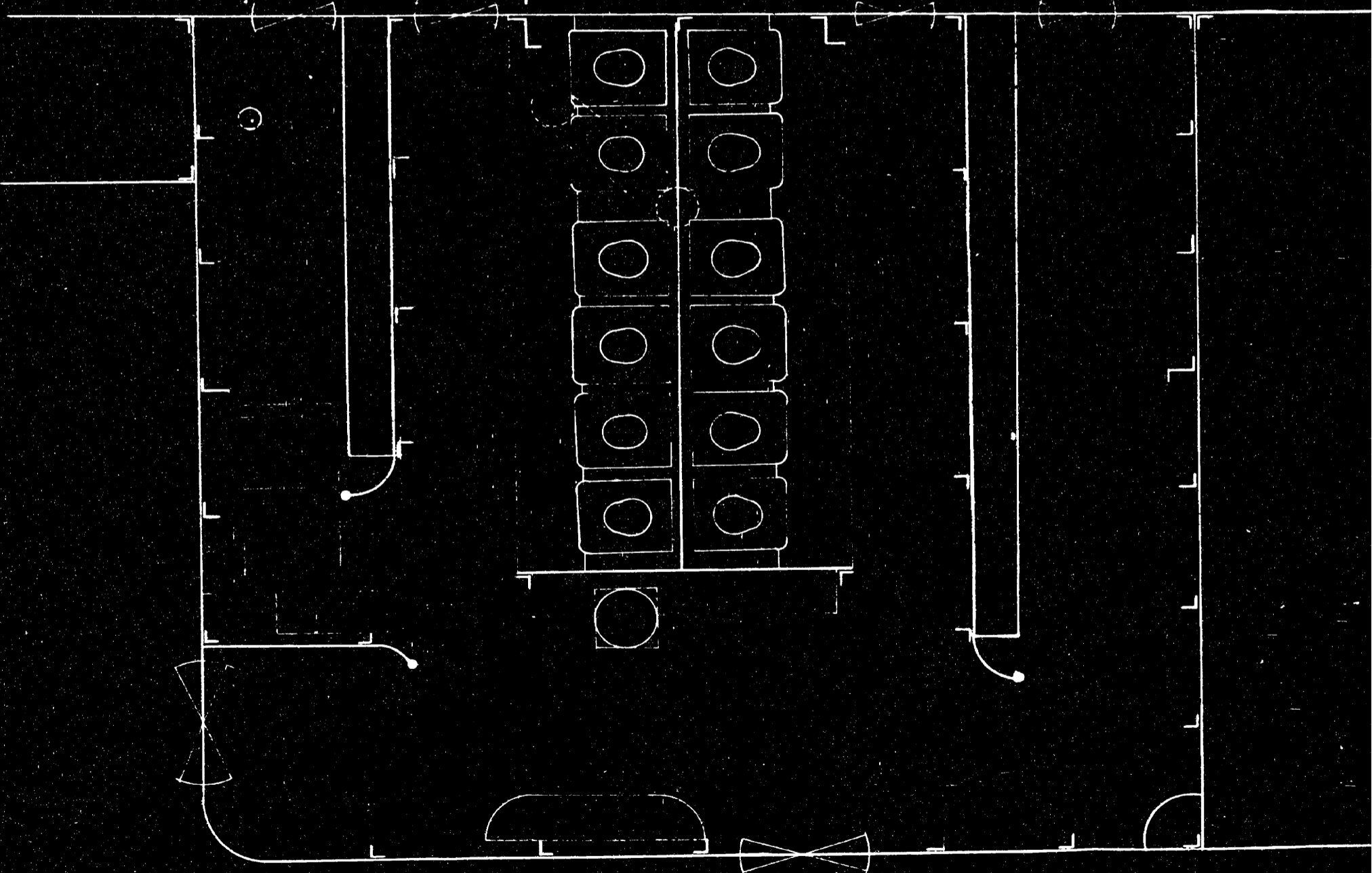
平面





中甲板

平面



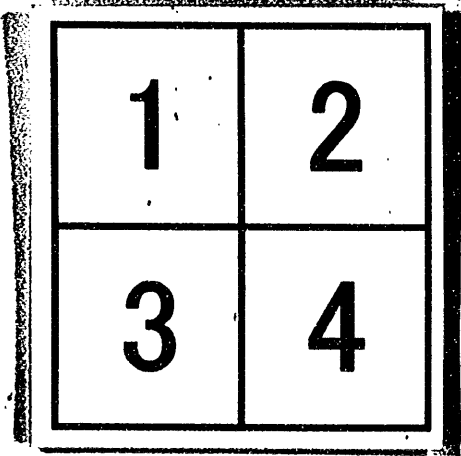
尺度 $\frac{1}{2}'' = 1^{\text{ft}}$

艦政本部



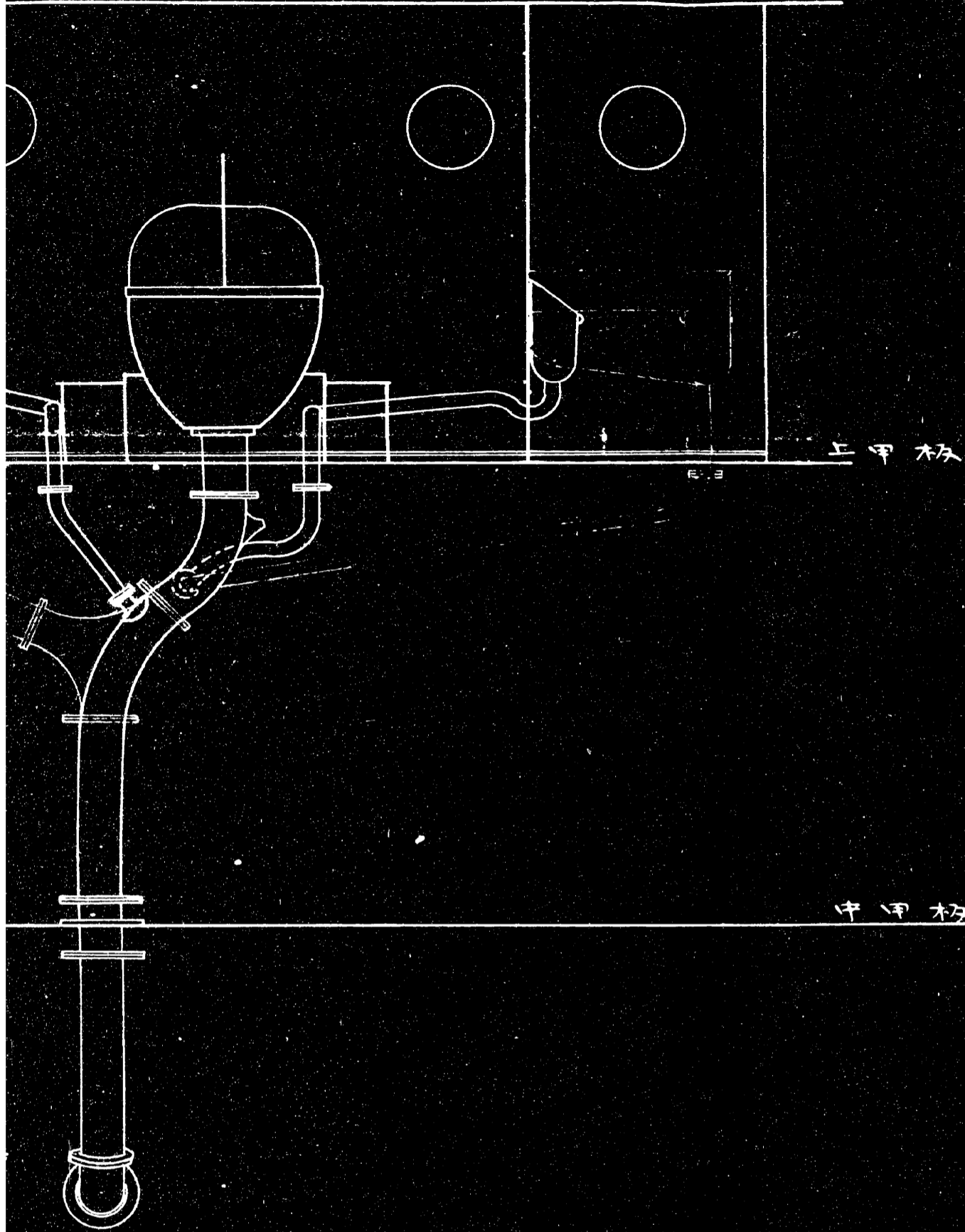
0910

分割撮影ターゲット

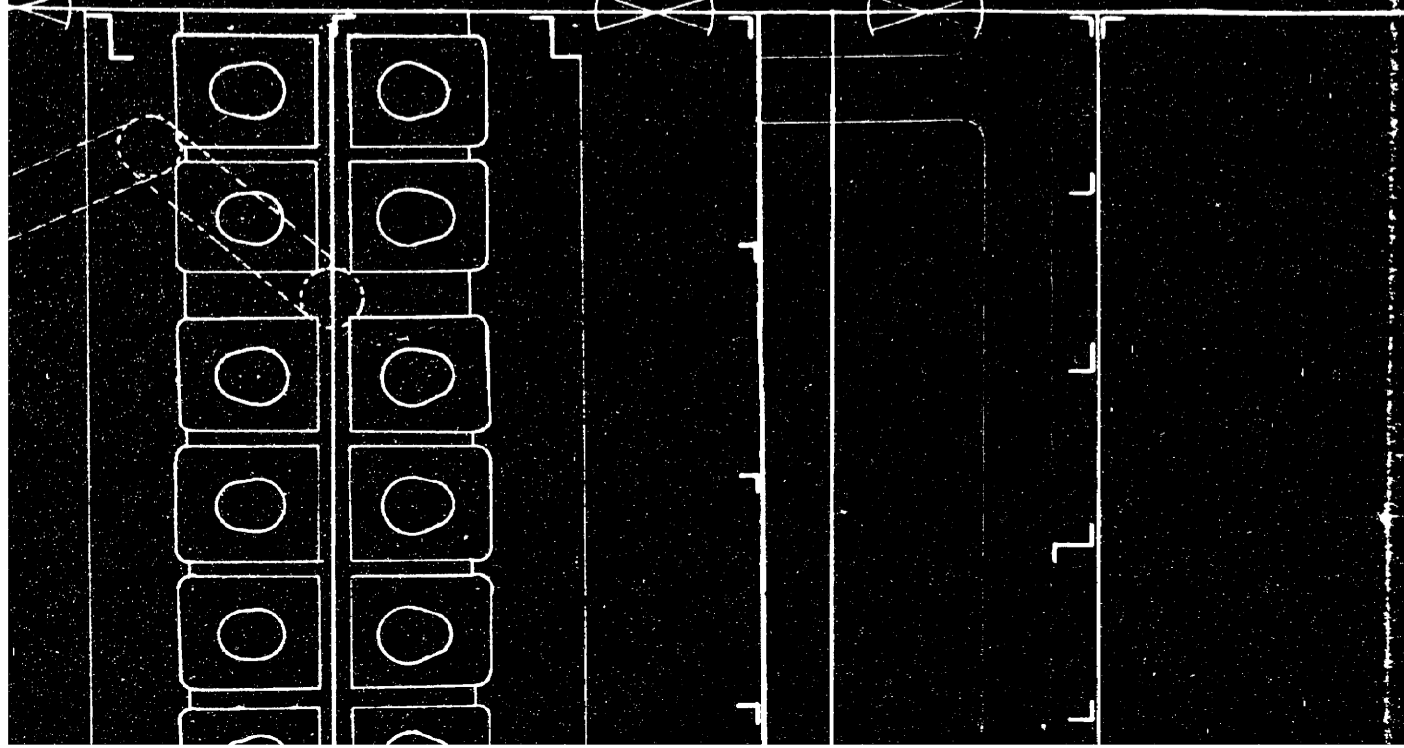
分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0911
0912
0913
0914

側面



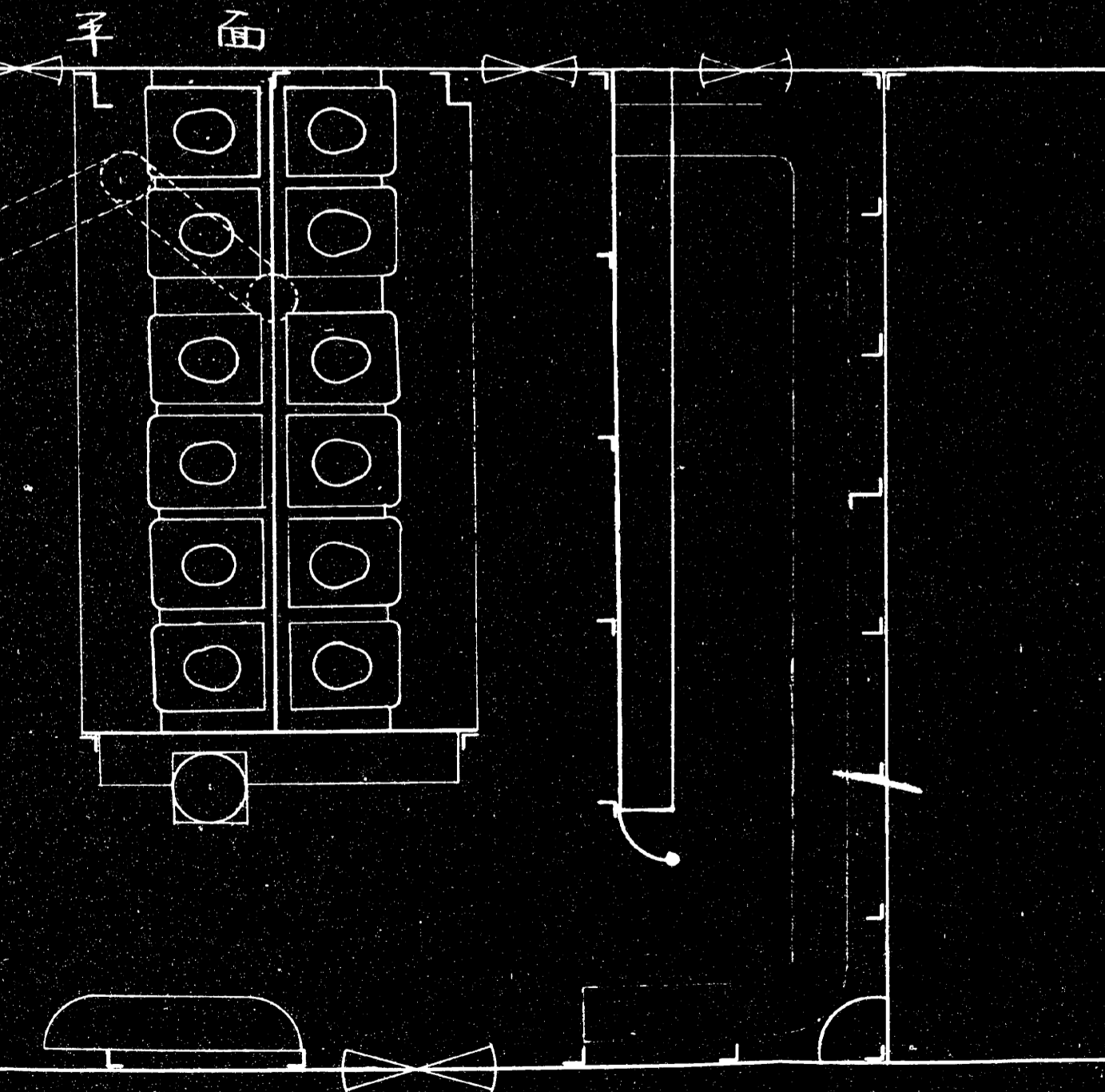
平面



軍艦伊吹
兵員剣改造



中甲板



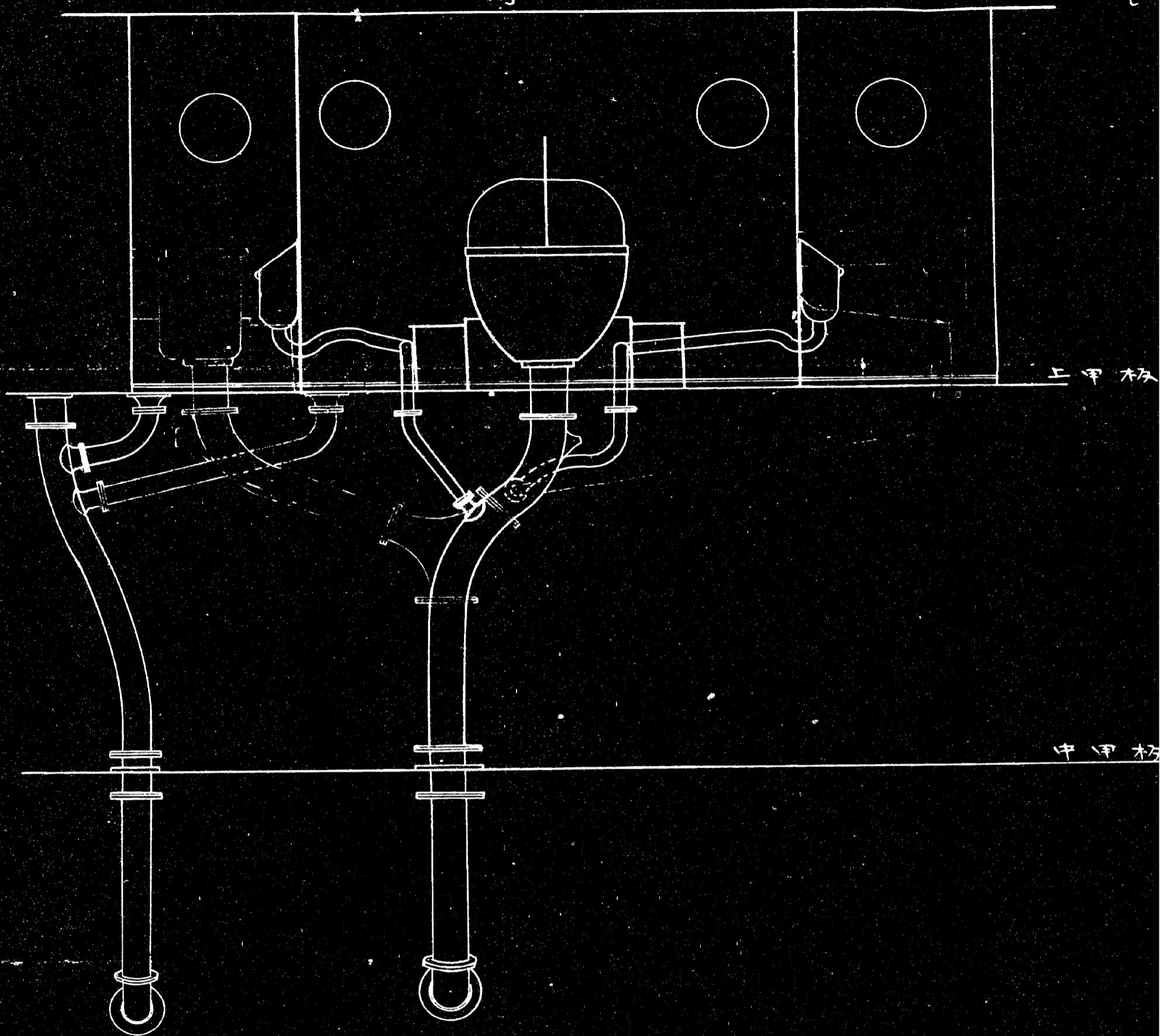
平面

尺度 $\frac{1}{2}'' = 1''$

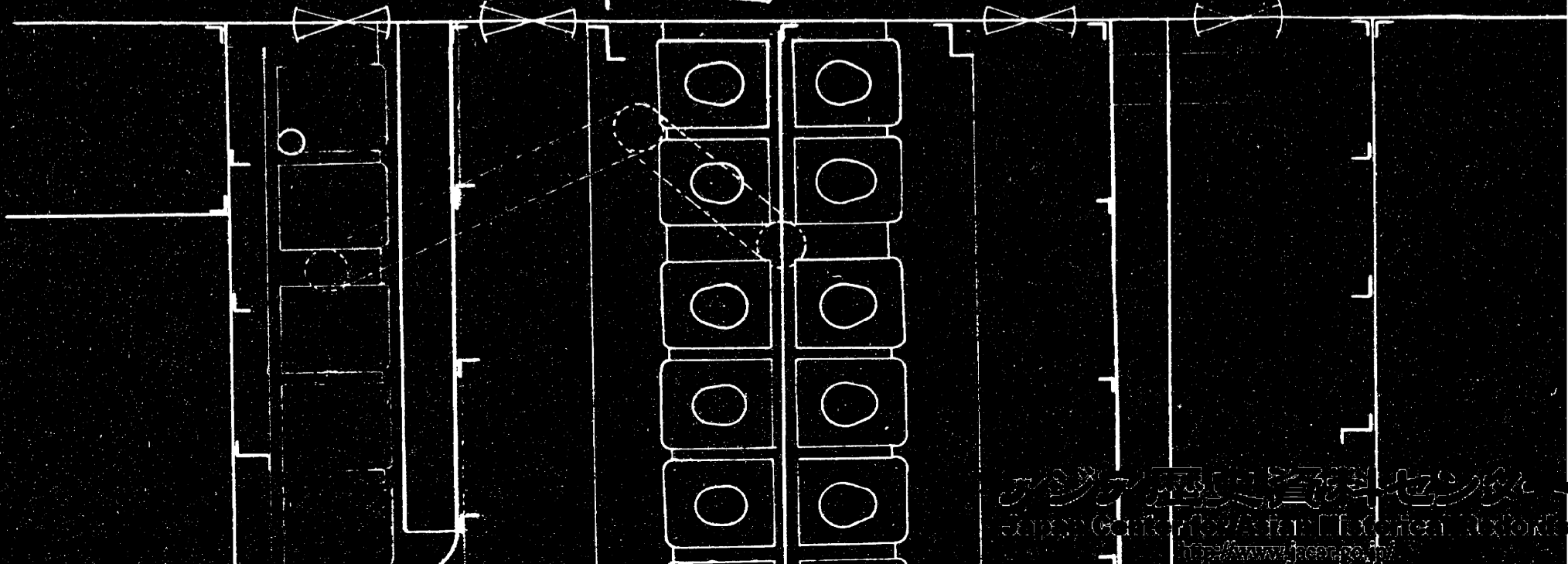
軍艦伊吹
兵員廁改造

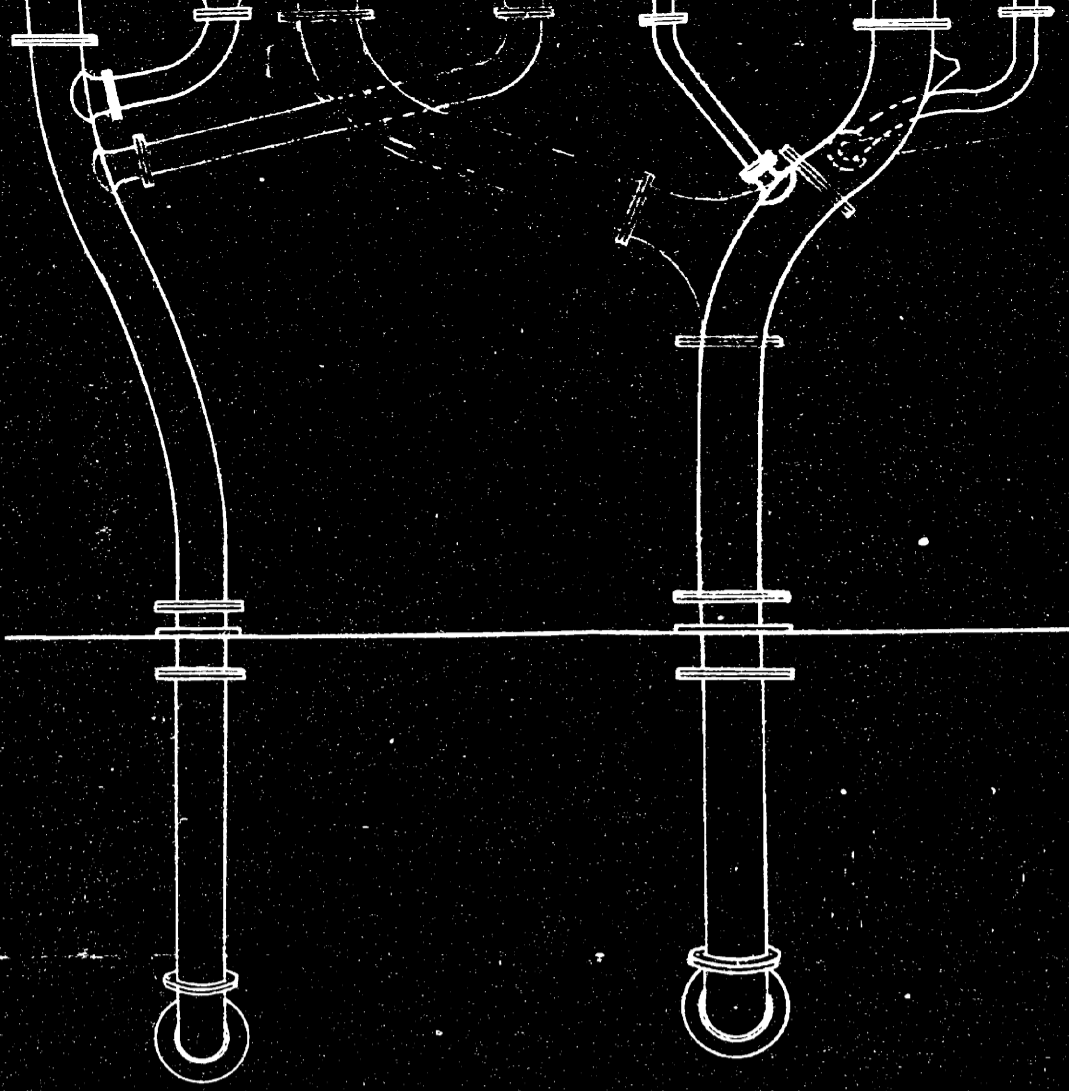
吳海軍工廠造船部	
部長	
製番主任	
部員	
拭負	佐々木
図番者	引地
製番者	瀬戸
番面番號	325
工事番號	
製番年月日	
出番年月日	3-7-6

側面

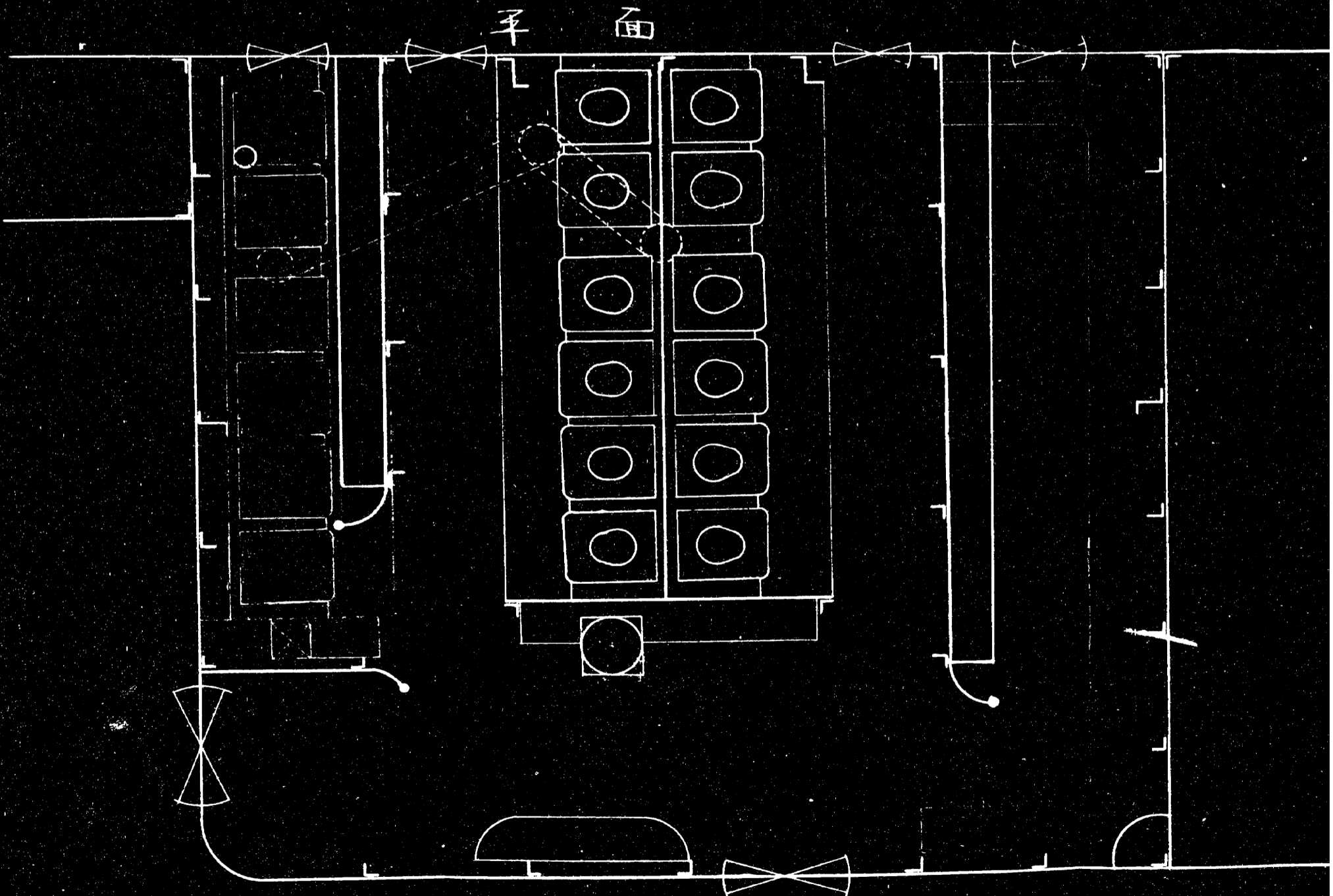


平面





中甲枋



尺度 $\frac{1}{2}$ " = 1^{FT}

艦政本部

0915

起案郵紙

大正三年八月十日起案

起案者 捺印

八月十日發付

發付係 捺印

聯合

發付後起 案者捺印

捺印

手書

提案

陸軍部長 村松

第四部

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

大臣

有

次官

捺印

參事官

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

副

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

陸軍部長

秋山

局長

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

捺印

軍令 水路 陸建 教育 郵政 司法 經理 醫務 人事 軍務 官房

大正三年八月十日 大臣 電 按 左鎮司令長官 馳送 艦 三日月 白露 罐水

午後五時二十分

大臣官房受

ラムヲ丸形ニ改造方取計フベシ

(理由)

前記各船ハ、^ド水^ラ板^ムニ疵ヲ生ジ目下之ガ
取換修理ニ着手中ナルガ、此際寧ク水^ド
ラム固有ノ形状ヲ丸形ニ改良シ故障ノ主因
ヲ除ク可トス
但之ガ為メノ工事回教ニ大差ヲ生セズ

(終)

八三五

至急

艦政本部長

第三部
第四部
第一部
第二部
會計課

一七六

大正三年八月十日

秋山海軍省軍務局長
村上海軍艦政本部長 殿

豊橋並駒橋丸ニ関スル件

旧軍艦豊橋ヲ運送船トシテ軍需品ノ輸送ニ從事
セシメ度又駒橋丸ヲ十號型潜水艇ニ隻ノ母艦ト
シテ獨立ニ使用致度ニ付至急右ニ必要ナル修理
改造工事ヲ實施セシメラレ度

右照會ス

終

艦政 10
8. 10

政艦
3. 8. 10
受接

0918